

## 環境月間とは

昭和47年（1972年）6月5日から2週間、スウェーデンで開催された国連人間環境会議を記念して、国連により6月5日は「世界環境デー」と定められました。

わが国では、昭和48年から毎年、この世界環境デーからの1週間を環境週間としてきましたが、平成3年からは、この環境週間を拡大し、6月を環境月間とし、環境問題の重要性を認識するとともに、将来に向かって、よりよい環境を創出するための努力と決意を新たにす機会としています。

また、平成5年11月に制定された環境基本法により、6月5日は「環境の日」として法定されました。

環境月間の期間中には、全国各地で環境保全に向けて様々な行事が行われており、本県でも、昭和48年から、毎年、この「県民のつどい」を開催しています。

### ○過去3年間の実績

	開催日	講師	内容
25年度	6月5日(水)	田原総一郎(ジャーナリスト)	「時代を讀む ～持続可能な社会に向けて～」
24年度	6月11日(月)	吉村作治(早稲田大学名誉教授、エジプト考古学者)	「エジプト文明からみた地球環境」
23年度	6月8日(水)	東義秀樹(雅集師)	「人の願いと音楽のつながり ～自然との調和～」

## イルカさんについて

東京生まれ。女子美術大学に在学中からフォークグループを結成、シュリークスを経て昭和49年にソロデビュー。翌年『なごり雪』が大ヒットし、シンガーとしての地位を確立する。昭和53年長男“冬馬”を出産、2年間の休業ののち再び活動を始め、コンサート活動を中心に毎年全国ツアーを続けている。

また、絵本でも『ちいさな空』（全4巻）と『真冬の天使』『まあいいのち』やエッセイを出版し、母親であるイルカはそれら作品を通じて、「私達は、皆この地球という大きな生き物に住む、細胞同志である」というメッセージを世代を超えて、沢山の人々へ伝えている。

平成16年7月、IUCN 国際自然保護連合、初代親善大使に任命され、今年で10周年を迎える。そこで、IUCN より、IUCN の歌「We Love You Planet！～ひびけ！惑星に。」の制作を依頼され、平成25年6月から約半年をかけて制作、完成した。

平成22年4月から、母校である女子美術大学、芸術学部、アートプロデュース表現領域の客員教授に就任。平成24年から、着物の手描きデザイン・プロデュースを手掛ける（テーマは「生物多様性」）など活動の幅を広げて活躍している。

## 環境保全関係功労者表彰

平成元年から環境部独自の表彰制度として行っています。

表彰区分は次の5区分です。

(1) 環境保全活動功労 (2) 環境保全推進功労 (3) 環境保全行政従事功労 (4) 環境衛生事業功労 (5) 環境保全特別功労

平成元年から25年度までに「県民のつどい」において、586個人・団体・事業場が表彰されました。